

決 議

私立中学高等学校は、建学の精神の下、常に社会の要請に応え、特色ある質の高い教育を展開し、我が国の公教育の発展に貢献してきました。

現在、我が国は少子高齢化の急速な進行による人口減少やデジタル社会への転換など、社会構造の大きな変化と円安等の影響による物価高騰に直面しています。

このような厳しい状況の中で、私立中学高等学校は、ICT環境の整備をはじめ、子供たちの命を守る施設の耐震化や、近年の気温上昇による熱中症対策など、教育環境の整備に努めていますが、これらの実現を図るための経費負担は、国公立学校がその全額を公費で賄えるのと異なり、私立学校においては最早自助努力の範囲を超えるものとなっています。

また、我が国の将来を担う子供たちが世帯年収や居住地に関わらず自由に学校を選択し、質の高い教育を等しく受けられるよう、都道府県における経常費助成や就学支援金の上乗せによる支援額の格差を是正し、保護者の教育費負担の軽減を図ることが強く求められています。

つきましては、本日ここに、私立中学高等学校関係者並びに保護者の総意において、私立学校の自主性・独自性の確保と我が国の公教育における公私間の様々な格差の是正の実現を期して、下記の事項について決議いたします。

記

- 一、私立中学高等学校の教育全般の充実発展のため、経常費助成費等補助の大幅な拡充を図ること
- 一、私立中学高等学校の保護者の教育費負担を軽減し、公私間や都道府県間の格差を是正するため、国による就学支援金制度や授業料減免支援の大幅な拡充を図ること
- 一、私立中学高等学校のICT環境の整備、施設の耐震化、高機能化の早期実現のため、所要の補助の大幅な拡充を図ること

令和5年11月1日

令和5年度私学振興全国大会